

## 令和6年度 学校改善アンケートの結果を受けて

知立南小学校  
令和7年2月

### ○ 高い評価を受けた項目

(児童、保護者、教職員ともに「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて80%以上)

問1「楽しい学校」 問7「教師の児童理解・評価」 問8「保護者との対話」

問9「学校の様子を知る」 問12「学校行事」

#### ※ 問1「楽しい学校」について

本校では、人との関わりを増やすための学習活動を豊富に行い、「楽しい授業・分かる授業」を推進しています。みな丸会（コミュニティ・スクール）と協力して、田植え体験、収穫祭、さくらまつりなどの行事が充実しており、保護者、地域の皆様に支えられています。

今後とも、児童が通いたくなる「楽しい学校」を目指します。

#### ※ 問7「教師の児童理解・評価」について

教職員は、子どもたちの良さを見つけ、声をかけています。また、子どもの特性に合わせて、特別支援学級、通級指導教室、みな丸教室（校内教育支援ルーム）を充実させています。

全校体制で、なやみアンケートを年2回行い、児童に寄り添っています。また、スクールカウンセラーによる教育相談も行っています。

今回の評価を励みとし、児童一人一人のよさを確実にとらえることができるよう、学年・学校体制で情報を共有し、個々の成長を促すことができるよう支援していきます。

#### ※ 問8「保護者との対話」について

昨年度に引き続き、保護者による評価が92%であり、高い評価をいただきました。全教職員が保護者の声に耳を傾け、学校と家庭とが連携して児童の健全育成に努めることを常に心掛けていることを評価していただいたことを大変うれしく思います。

こうした取り組みを続けるとともに3%の保護者に満足していただけていないこと、さまざまな貴重なご意見をいただいていることを反省し、保護者の皆様と連絡を密にして児童の健全育成に取り組めます。

#### ※ 問12「学校行事」について

児童、保護者、職員ともに高い評価をいただきました。「スポーツフェスタ」など、高学年児童が主体的に取り組む活動が盛んで、多くの児童が参加しています。また、11月、4～6年「プロフェッショナルに聞く」では、みな丸会の協力で、講師を選びました。子どもたちが、楽しみながら職業に興味をもったり、自分の夢について考えたりする活動になりました。

今後も、児童が自主的に運営し参加する学校行事を、さらに魅力的なものにするよう支えていきます。

### ○ 低い評価にとどまった項目

#### ※ 問5「進んで発言・発表」について

児童の評価は上がっているものの、保護者、職員の意識は減少しています。

ペア学習、グループ学習など人との関わりを増やす学習形態を工夫するとともに、どの子も進んで発言できるよう支えていきます。

#### ※ 問6「家庭学習」について

児童、保護者、職員ともに、意識は、微減しています。

方向性として、低・中学年は、基礎基本を定着するための内容を重視していきます。高学年は、自分の目標とともに、内容、学習量について、その子に合ったものを学習し、進んで学ぶ児童を育てます。

#### 学校改善アンケート変更点

|       |           |          |             |            |
|-------|-----------|----------|-------------|------------|
| 令和5年度 | 4：とてもそう思う | 3：ややそう思う | 2：あまりそう思わない | 1：全くそう思わない |
| 令和6年度 | 4：とてもそう思う | 3：そう思う   | 2：あまりそう思わない | 1：そう思わない   |

# 令和7年度 学校改善に向けた取り組みの重点

知立南小学校

令和7年2月

## 1 確かな学力の育成・基本的な生活習慣の確立

- (1) 児童が主体的に学習に取り組む態度を養い、確かな学力の育成に努めます。
  - ・ 言語に関する能力を高め、思考力・判断力・表現力の育成を図ります。
    - 体験から感じ取ったことを進んで表現する場を設けます。
    - 学習課題について解決する方法を筋道立てて考え、PDCAサイクルで評価し、解決を目指します。
    - 話す力・聴く力の育成に努め、互いの考えや学びのよさを認め合い、仲間と意見交換するペア・グループでの活動を行い、最終的に個々の考えを深める授業づくりをすすめます。
  - ・ 児童一人一人が学習課題や対象に対して、思いや考えを深めることのできるよう支援します。
    - 対話や学習用タブレットの活用、ノートや学習プリントへの朱書き等で個々の考え方や学びのよさを認め、意欲をさらに高め、継続させられるよう支援します。
    - 単元の終わりでは、振り返りの場面を工夫します。自分の学びを確認したり、次の課題を見つけたりすることで、児童の主体的な学びを支えます。
- (2) 家庭との連携を大切にし、家庭学習をはじめとした学習習慣の確立を図ります。
  - ・ 児童の学力定着に効果的な家庭学習となるように、発達段階に応じた学習量や内容、実施方法を工夫します。
  - ・ 家庭との連携を強化することで家庭学習の取り組み状況を把握し、意欲を継続させて学習に取り組むことのできるよう、個に応じたきめ細かな指導をすすめます。
- (3) 登下校指導、交通安全指導をより充実させ、安全への意識を高めます。
  - ・ 通学班会やリーダー指導、一斉下校を定期に実施し、安全な登下校に対する児童一人一人の意識を高めます。
  - ・ コミュニティ・スクール（愛称：みな丸会）やスクールガード、ボランティア南の会、保護者の皆様との連携を図り、新しい形を模索しながら、児童の安全を見守る体制を整えます。
- (4) 明るく元気な挨拶が響く学校づくりを目指します。
  - ・ 教職員全員が児童のよき模範となるよう、児童、保護者、来校者の皆様に率先して挨拶することを心掛け、児童が挨拶するよさを実感できるよう手だてを工夫します。
  - ・ 保護者や地域の方と連携し、心と心をつなぐコミュニケーションとしての挨拶に加え、自他を守る防犯活動としても挨拶が有効であることの周知を図ります。

## 2 学校生活の充実

- (1) 学習の基礎・基本の徹底を図り、すべての児童によく分かる授業づくりを目指します。
  - ・ テーマや授業の展開を工夫し、一人一人が活躍できるような場を設定することで、自己有用感を育み、理解を深める授業づくりを推進します。
  - ・ 学習用タブレットを有効活用するとともに、少人数学級や一斉授業など、学習内容に合わせて授業形態を工夫したり、外部講師を招聘したりして、分かりやすい授業の展開に心掛けます。
  - ・ 朝の学習の時間に、漢字学習、計算の繰り返し学習などを行い、基礎的な内容を定着するよう有効に活用します。
- (2) 一人一人の児童を大切にし、児童と児童とのかかわりを意識した活動を設定します。
  - ・ 児童の意見を積極的に取り入れる自主的・自発的な学級活動や児童会活動、委員会活動を展開します。
  - ・ いのちを大切にすることを育てるため「SOS の出し方」の学習を進めます。同時に教職員の受信力を高めるため、「SOS の受け止め方」を高める研修を行います。
- (3) 学校安全への意識を高くし、課題に対して迅速に対応し、安全で整理された学校環境づくりに努めます。
  - ・ 教職員による定期的な安全点検を中心に、校内の危険箇所、老朽箇所を確実に把握し、安全で快適な環境づくりを推進します。
  - ・ 市との連絡を密にし、連携をより強めて、老朽化した施設の改善に取り組みます。
- (4) 家庭や地域との連携を図り、開かれた学校、地域から愛される学校の実現に努めます。
  - ・ みな丸会を中心とした地域協働活動の充実を図り、知立南小学校の教育活動の充実と発展を目指します。
  - ・ 学校ホームページや学校だより、学年通信の一層の内容充実に取り組みます。
  - ・ 児童が主体的に活動し、保護者や地域の皆様にその様子が伝わるよう、行事や授業内容の改善・充実を図ります。

※ 改善案の実施と実現に向けて、全教職員で努力してまいります。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。